

鶴ヶ島市議会報告会2015

市民とギインの懇談会  
**ギインと語ろう!!**

市民とギインの懇談会

●市民とギインの懇談会  
日時：10月23日（金）18:00～20:00  
会場：鶴ヶ島市女性センター「ハーモニー」

**ギインと語ろう!!**

市民とギインの懇談会



主催：鶴ヶ島市議会  
後援：鶴ヶ島市議会事務局 ☎049-271-1111

10月23日（金）18：00～20：00  
鶴ヶ島市女性センター「ハーモニー」

## タウンミーティングのテーマ いま議員に求められていること

テーマの背景として

- 人口減少社会に求められる議員の役割
- 議会改革に求められる次のステップ

これから必要だと考えていること

- ①市民の意見を聞き、市民と話し合うこと
- ②政策立案の力量を高めること
- ③市民が求める議員活動を行うこと

みなさんの考えをお聞かせください。

2

2006年5月、北海道の栗山町議会が全国初の議会基本条例を制定して今年が10年となります。

現在、議会基本条例は約40%の自治体が制定しています。50%近くが何らかの形で市民と対話の場を持ち、開かれた議会へと変わってきています。

鶴ヶ島市議会でも、議会改革の検討が始まり、2005年に議員定数を24人から18人に6人削減し、さらに、3年をかけて議会基本条例をつくりました。その間、費用弁償と日当を廃止し、政務活動費も領収書の原本を添付して1円単位で報告しています。また、議案の賛否も公開していますし、インターネット中継・録画もホームページから見ただけです。そして、現在も議会報告会や市議会広報のあり方について改革の議論は進行中です。

全国的に議会改革は進んでいますが、形式的に整っているだけとの厳しい指摘もあります。

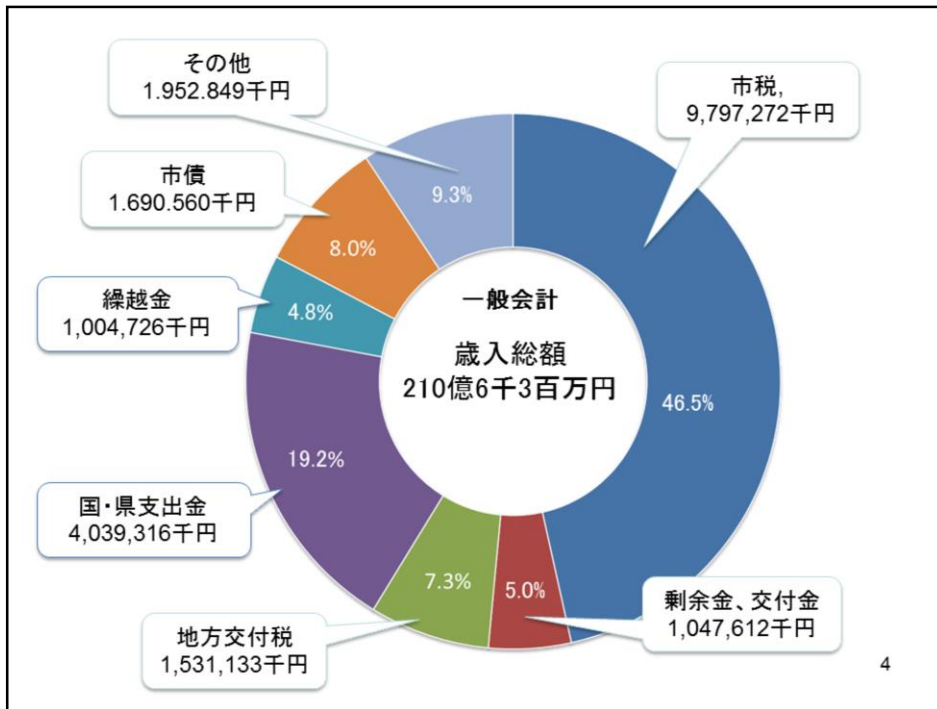
今回のタウンミーティングのテーマは、市民の皆さんが「いま、議員に求めていること」をお聞きしたいと考えています。

人口減少問題は、財政、市民サービスに直結する大きな課題です。

議員は、地域に根差した存在であるべきとの視点からタウンミーティングを企画しました。

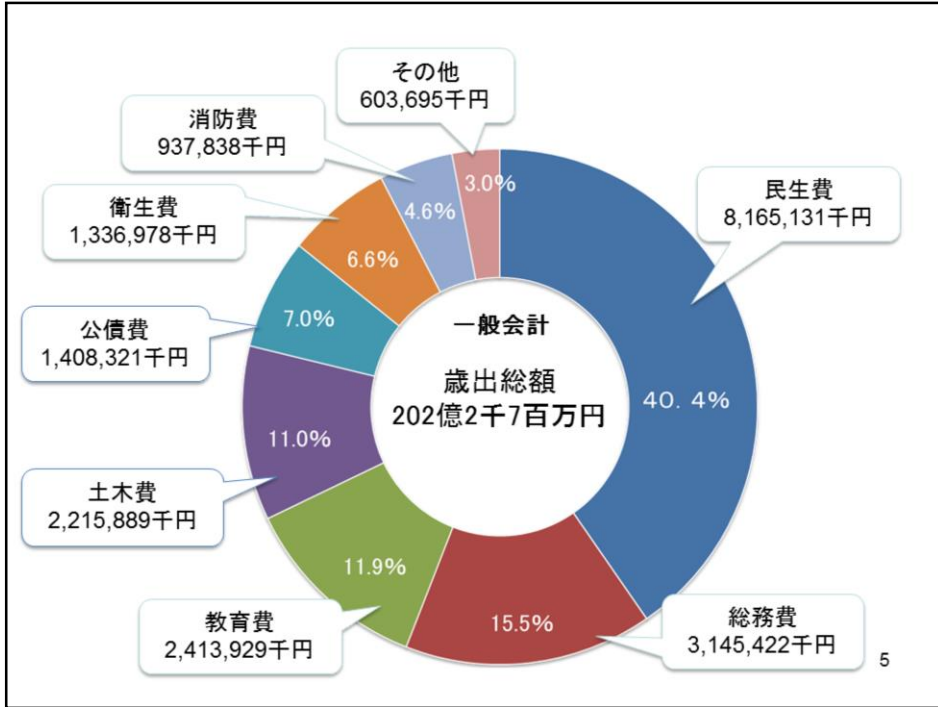
## 議会報告

昨年度の税金は、  
次のように使われました。



歳入総額は前年度に比べ、3億8600万円(1.8%)減少しています。  
 市民税は増えていますが、給食センターの整備や学校の空調などの大きな事業が  
 終わり、国・県から支出されるお金が減っています。  
 その他で、ふるさと納税制度を活用した寄附金が、昨年と比べ、1億3411万円増え  
 ています。

交付税や国・県の支出金の依存財源より、市税等の自主財源の割合が大きいほど  
 安定性、自立性が高いとされています。  
 今年度の自主財源比率は60.7%と昨年より5.3ポイント増えています。



歳出は、前年度に比べ、2億1800万円(1.1%)減りました。民生費、総務費が増えています。教育費は、歳入同様、給食センターの整備や学校の空調工事の完了から減っています。

歳入での「市債」とは、市が建設事業等の財源を調達するために行う長期の借金のことです。借金をすることを起債、借金を返済する費用を「公債費」といいます。市民一人当たりの市債残高は約23万6000円です。

## 子育てと教育環境の充実

- ・ 中学校の校舎屋上防水工事
- ・ 富士見保育所の改築
- ・ 民間保育所への整備支援

6

鶴ヶ島中学校、藤中学校校舎屋上防水工事 2億1521万2680円

富士見保育所の改築 3億7908万円

栄小学校敷地内に、老朽化した富士見保育所を移転改築しました。新しい保育所の定員は120人(前と同じ)。敷地面積も広くなり駐車場が確保できました。床面積も広くなり、1歳児室を2部屋増やしました。床暖房、太陽光発電、多目的トイレ等、木材をふんだんに使っています。

民間保育所整備支援

上広谷の鶴ヶ島みどり保育園への補助額 1億9051万9000円

下新田のつるがしま白百合幼稚園が認定こども園を整備。補助額9317万4000円

## 市民の健康維持・増進

- ・健康増進課を新設
- ・地域でスクラム健康運動事業

7

年々増加する扶助費の抑制につながる、市民の健康維持・増進に関する事業を実施するため職員を増員して「健康増進課」を新設しました。

### 地域でスクラム健康事業

- ・「タニタ健康プログラム」を活用した健康運動です。
- ・参加者には、実施期間中タニタ通信機能付き歩数計を貸与します。
- ・各市民センターの健康コーナーに体組成計・血圧計・カードリーダーを設置しています。定期的(3~4週間に1回程度)に計測をしていただきます。カードリーダーにかざすことで、歩数や計測したデータがタニタシステムへ送信されて、自宅のパソコンやスマートフォンで見ることができます。(パソコンやスマートフォンがない方でも、気軽に参加できます。)
- ・タニタ健康セミナーなど、健康生活を応援するプログラムへの参加をお願いします。

26年度の参加人数は、男性177人、女性123人で300人でした。61%の方が今年度も継続され、27年度は400人が参加しています。

「今より1日10分、1,000歩多く歩こう」を目標にしています。昨年は、平均630歩増えました。1歩歩くと0.061円医療費が削減されると言われています。昨年の効果は420万円程度と推定されます。

## 市内産業の振興

・ふるさと納税 1億3500万円

・地域経済応援事業

つるがしま元気クーポン券

つるがしまプレミアム商品券

8

### ●ふるさと納税

記念品と人件費等がありますので、実収入は5,500万円から5,700万円くらいです。“ふるさと納税”とは、ふるさと(自分が貢献したいと思う都道府県・市区町村)に対して寄附を行った場合、2000円を超える部分について、住民税と所得税から一定の控除を受けることができる制度です。

寄附先の“ふるさと”には定義がなく、出身地以外でも、自分が応援したいと思うふるさとを自由に選ぶことができます。

平成27年4月1日から、ワンストップ特例制度による税控除手続きが選択できるようになりました。

### ●地域経済応援事業

つるがしま元気クーポン券・・・エコライフ促進事業9561枚、74店舗／172店舗

プレミアム付き商品券(10%)・・・500万円(5500万円)、132店舗／172店舗

去年は売り切るのに時間がかかりましたが、今年の30%プレミアム付き商品券は、早い時間に完売してしまいました。受付方法や、情報提供について工夫が必要との意見がありました。

### その他

●埼玉県で野生化したアライグマによる農産物等への被害について、分析調査の委託費61,500円、去年は鶴ヶ島で40頭捕獲されています。

●学校給食費の滞納の対応で、新聞にも出ていましたが、さいたま地方裁判所川越支部の債権差し押さえ命令を受けて、保護者の給与から滞納額に裁判費用や利息分などを加算した56,647円を回収しました。

平成25年10月から26年7月の不納で、保護者と面会できず回答もなかったそうです。市が強制執行したのは初めてです。



## 平成26年度各会計決算状況

一般会計+特別会計=318億7111万2771円

	歳入(収入)	歳出(支出)
一般会計	210億6346万7627円	202億2720万1799円
特別会計		
国民健康保険	79億9792万9406円	76億1981万5024円
後期高齢者医療	5億144万822円	4億9823万6663円
介護保険	31億3711万6610円	29億7556万4233円
坂戸都市計画事業 一本松土地区画整理事業	2億2944万1721円	1億9236万556円
坂戸都市計画事業 若葉駅西口 土地区画整理事業	3億8417万830円	3億5793万4496円

特別会計は、一般会計とは別に、国民健康保険など特定の事業を行うために置かれています。

また、下水道やクリーンセンターなど複数の市町村で事務の一部を共同で行うために、「一部事務組合」を置いています。鶴ヶ島市が構成団体となっている身近なものは6つです。以下決算額。

下水道 5億6329万円  
 衛生 5690万円  
 環境保全 6億9965万円  
 消防 9億2790万円  
 静苑 1868万円  
 水道 120万円

それぞれの議会を分担して担当しています。

## 今年度追加された事業

- ・庁舎窓口環境改善事業 1億3000万円
- ・防犯灯LED化推進事業 807万9000円
- ・雨乞いのまち鶴ヶ島活性化ビジョン策定事業  
180万円
- ・保健センター運営事業 4259万2000円

10

### ●庁舎窓口環境改善事業 1億3000万円

総合窓口・・・レイアウト変更、手続きの集約化、利用頻度が低い階段の撤去、カフェコーナー、老朽化対策、マイナンバー対応のOAフロアー等

### ●防犯LED化推進事業 807万9000円

今ある防犯灯のうち蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯をLEDに交換することにより省エネルギーと地球温暖化排出ガス(CO2)の排出量をおさえる。財政負担の軽減と環境に優しいまちづくりをすすめます。

### ●雨乞いのまち鶴ヶ島活性化ビジョン策定事業180万円

鶴ヶ島の地域資源である脚折雨乞いを活用し、産業の振興、シティープロモーション活動、ふるさと意識の醸成、まちづくりにつながる計画を市民とともにつくります。→シティープロモーションの視点について質問があり、霞が関カンツリーでのオリンピックを絶好の機会としてアピールしていくということでした。

### ●保健センター運営事業 4259万2000円

平成22年ごろから劣化による不具合があった。平成27年4月、空調設備の作動不良があり、修繕で対応できなくなりました。

### その他

●つるバス、つるワゴンの利用者は増えているが補償金は減っていない。修理等もあった。主に、44%は特別乗車証の方。また、高齢のかたの足となっている。

●図書館の利用についての質問→16万214人(1600人減)、貸出冊数72万1151冊(1万5000冊減)

## 議員提出議案

- ・ 3月議会

子どもたちの心豊かで健やかな成長を願うことを決議しました。

- ・ 9月議会

鶴ヶ島市議会会議規則に、出産による欠席の規定を加えました。

11

●昨年、市内の中学校でいじめを原因とした事故が発生しました。いじめ根絶のためには、学校、教育委員会、市、保護者などが一体となった取り組みが必要です。子どもたちが心豊かで健やかに成長できる環境づくりを推進するために決議しました。

●男女共同参画を考慮した議会活動をすすめるため、出産による会議、委員会の欠席の届け出に関する規定を加えました。

## 休憩（20分）

意見票の記入をお願いします。